

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.10 平成26年8月17日発行
発行責任者：高一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
mail info@soya-teachers.org web : http://www.soya-teachers.org



怪獣「ムラマラン」を
やっつけろ！

査定昇給の制度設計がはじまる 私たちの声を道教委に届けよう！

一学期末、各学校では校長先生から「月例給の査定昇給制度」について説明が行われたことと思います。北海道教育委員会は、一〇月上旬までに今回導入する月例給の査定昇給に関する制度設計を行い、秋から冬にかけて「査定」を行うとしています。

今回の「査定昇給制度」に関して、私たち宗谷教職員組合は「学習」「対話」「発信」の三つを大切に取り組みを進めることを確かめました。

一学期末には各支部・分会で査定昇給制度の制度設計や非教育性について学習や対話が行われました。

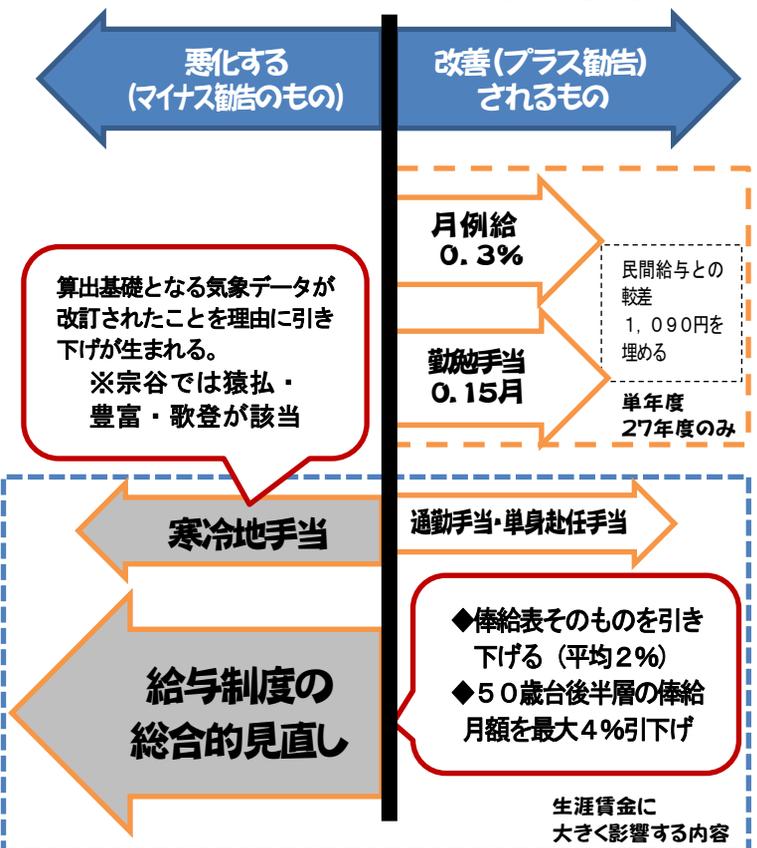
また、リード文にもあるように、各校長先生を通して教職員集団に説明がされたことで、管内的に全教職員が査定昇給制度について一様に知ることとなりました。

北海道教育委員会は八月以降、具体的な制度設計に入るとともに、職員団体と協議も行うとしています。道教組に集う私たちは、声を集める取り組みを通して、道教委に迫ります。宗谷教職員組合として、宗谷管内の先生方が抱いている「査定昇給制度に対する不安や、感じている非教育性」を語り合い、声を束ねましょう。



猿払・豊富・歌登で寒冷地手当削減へ 人事院が国家公務員の給与について勧告 今後は道人事委員会の動きに注視

私たち公務員は労働基本権が制約されています。その代償として、公務員と民間とのバランスを図るため、国は人事院勧告を行います。その結果を受けて、北海道人事委員会が北海道の公務員の処遇について検討をします。



8月7日、人事院は一般職国家公務員の給与等に関する勧告と報告を出しました。通常勧告は、単年度ごとの給与改定に関するものにとどまるものです。しかし今回は、公務労働者に対する「給与制度の総合的見直し」という単年度にとどまらない制度変更をとともなう勧告となりました。

一見すると、今年度の給与に関してはプラス勧告であるものの、「給与制度の総合的見直し」によって、今後三～五年、そしてそれ以降を勘案すると、給与ダウンを引き起こす内容です。

基本的な原則として、人事院勧告は国家公務員に対して出されるものであり、各都道府県はこの勧告の内容を踏まえて、人事委員会勧告を出すものです。北海道人事委員会が出す勧告の内容が、少しでも私たち北海道で働く公務労働者の実態を踏まえたものとなるよう、運動をすすめましょう。

生涯賃金に大きく影響する内容

憲法と教育を学ぶ夏 みんなの声が自信になる

利尻 利尻富士 礼文編

◆最近の世の中の動きに「どうしたもんか。何ができるか」と思っていたので、学習会はタイムリーでした。お互いに語り合っていかなければ、世の中の流れは変えられないと思います。

改悪の流れをストップさせようとしている人たちがたくさんいることを知り、心強く思うと同時に、自分もできる範囲で発信しなければならぬと思いました。

◆知ることと理解すること、考えること、判断・行動までは大変だけれど少しずつしなければと感じました。戦争が起ころ可能性をやはりなくしたい。

◆戦争でできる国にだんだん日本が変わっていく、変えられていく。その中で、いろんな立場や考えがあります。「まあ、それもさうだよなあ」「さういわれたら、さうかなあ」とかすぐに思っちゃいます。

◆「あかんもんはあかん！」と伝えられる人間でありたい。だって戦争は痛いし、こわいし、熱いし、そして悲しいし。でもそれは理想。…だけと理想を追い求めるのは大事ですよ。集団的自衛権の閣議決定がされてから、マレーシア航空機が落ちても「これって、回り回って日本が戦争に行かなくちゃならなくなったりする？」とか考えました。

◆日頃、忙しさにかまけて、全然ニュースを見ていなかったと反省しました。どんな情勢が変化していることをきちんと認識し、自分の考えをもっていくべきだと思えました。また、子どもたちに対して、わかりやすく伝えていくことができようように情報を集め、自分の考えを交えながら伝えていきたいと思いました。

◆憲法と情勢について、深く考えることが正直ありませんでした。子どもたちが生きて成長している現在の様子を知っていく必要があると思えました。

◆日々の生活の中で、憲法について考える事を止めていたことに気が

連載のスタートです。11月8日・9日に行われる「全道合同教育研究集会」に宗谷からこぞって参加できることを願ってのキャンペーンです。

今回は、「合同教研ってなに!？」です。宗谷教組をはじめとする全道の仲間「道教組」、そして道教組と手を取り合う様々な団体（教育関係以外もたくさん）が行う全道規模の教育研究集会です。

学び合う場面は大きく3つです。全体講演、4つのテーマ討論による全体の学び合い、そして24の分科会です。教科教育はもちろん、たくさんの方科会があります。

- ①国語 ②外国語 ③社会科 ④数学 ⑤理科
- ⑥美術 ⑦書教育 ⑧音楽 ⑨技術・職業教育
- ⑩家庭科 ⑪保健・体育教育 ⑫総合学習・生活科
- ⑬教育課程と子どもの学力・評価
- ⑭学校と家庭の生活指導 ⑮教育条件確立の運動
- ⑯子ども、父母参加の学校づくり
- ⑰地域における子育て・学習運動
- ⑱地域と学校の文化・スポーツ活動
- ⑲国民のための大学づくり ⑳障害児・障害者の教育と福祉
- ㉑環境・公害と教育 ㉒平和・憲法、人権・民族と教育
- ㉓子ども・青年の発達と教育 ㉔不登校・登校拒否・高校中退

「レポーター」として参加したいものです。学校でのお仕事の中で取り組んだもの（指導案や学級通信など）を簡単にまとめることからレポートづくりがはじまります。そして、この取り組みが自身の今後の教育実践の大きな財産となります。もちろん、レポートがなくても「オブザーバー」として参加することも可能です。

新連載♥ 学びの秋！ 合同教研で札幌に集おう！

◆日々の忙しさを口実に、情勢に目を向けられていなかったと反省してもしきれないと感じています。「教え子や再び戦場に送らない」ために、子どもたちが情報や教えられたこと、聞いたことを鵜呑みにせず、主体的に考え、判断できる人物に成長していく道すじを示してあげられるように、私自身も勉強を続けていかなければと思えました。

◆日々の忙しさを口実に、情勢に目を向けられていなかったと反省してもしきれないと感じています。「教え子や再び戦場に送らない」ために、子どもたちが情報や教えられたこと、聞いたことを鵜呑みにせず、主体的に考え、判断できる人物に成長していく道すじを示してあげられるように、私自身も勉強を続けていかなければと思えました。

宗谷の四季

◆「あれっ、大丈夫？」

「新自由主義」っていう考え方がスタンダードになって、10年近くになるでしょうか。競争を作りだし、個人主義にして、何かあっても自己責任…という考えです。すごく簡単に言うと。「自民党をぶっ壊す」と言っていた首相の頃から、いろいろと形を変えて私たちの生活に入り込んできています。

おもて面で扱った「査定昇給制度」も例外ではありません。道教委は、「若い先生方の給料を少しでも高くするんだ」と言います。でも、その背景には、個人主義のもと、競争原理を学校現場に持ち込みたい…という国の施策があるのです。

夏休み、一冊の本を読みました。その中に「あれっ、大丈夫？」と「おせっかい」はチームの力を高めるといいます。

自分自身のことだけに注意を払うのではなく、仕事をいっしょにする仲間のことにも注意を払い、そして気づいたことがあれば口に出して言う。そうすることで、【中略】チーム全体としての力を高めることができる。それらが結果的に個人の成果にもつながるのです。

どんな問題も「チーム」で解決する ANAの口ぐせ/ANAビジネスソリューション編

どんな職場でも大事な、「力合わせ」という考え方を、今こそより良きものにするために、民主的學校づくりをすすめる二学期です。宗谷教組の様々な取り組みも盛りだくさんです。二学期、みんなで力を高めていきましょう。

9月6日は 組合に集おう♥

- 女性部学習会 (宗谷教育会館)
- 第48回中央委員会 (10:30~14:00/稚内総合文化センター)
- 民主的學校づくりの学習交流集会 (14:30~17:00/稚内総合文化センター)

9月20日、稚内で憲法学習会
明日の自由を守る若手弁護士の会 神保 大地さんがやってくる！
とってもおすすめです。詳細は次号で！